

科目名： 保育の計画と評価		講義・演習	担当教員名： 栗原ひとみ
			実務経験： 有
1年次 前期	2単位		選択 / <input checked="" type="checkbox"/> 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育は、計画が基になって展開されている事を知る。 ・計画が示す方向目標に向かって実践は一貫性と柔軟性を持って行われる事を知る。その際にはこどもの発達段階の理解・遊びを通じた適切な援助が必要であることを理解する。 ・評価する観点を持ち総合的に教科していく重要性を理解する。 			
<p>授業の概要：</p> <p>子どもが発達に必要な計画を積み重ねて行くことができる環境を計画的に構成し、子どもの心身の状況により、適切な援助を行うことが保育者の重要な役割である。子どもの発達の特性と一人ひとり子どもの状態を踏まえた「見通し」ある保育の展開をしていく必要がある。その為に必要な知識と保育技術を当該科目で学んでもらいたい。加えて立案した計画を実践した後省察し評価する事である。テキストに沿った授業進行を行い、毎回確認小テストを行う。学生の学習成果や定着度を把握したうえで臨機応変に講義内容を修正していく。学生の習熟度に応じて展開していく。</p>			
授業計画			
1	授業オリエンテーション 計画の意義 計画の一貫性と柔軟性		
2	カリキュラム基礎理論 保育の法的理解		
3	カリキュラムマネジメント PDCAサイクル		
4	保育所保育指針 指針の内容理解		
5	幼稚園教育課程 幼稚園・保育園・認定こども園三法の共通性		
6	全体的な計画 計画を構造的に捉える		
7	指導計画案の作成 自ら指導計画案を作成		
8	模擬保育の実践1 指導案に基づいた保育実践1		
9	模擬保育の実践2 指導案に基づいた保育実践2		
10	模擬保育の実践3 指導案に基づいた保育実践3		
11	模擬保育の実践4 指導案に基づいた保育実践4		
12	模擬保育の実践5 指導案に基づいた保育実践5		
13	模擬保育の実践6 指導案に基づいた保育実践6		
14	模擬保育の実践7 指導案に基づいた保育実践7		
15	総括 定期試験		
テキスト： 教育・保育カリキュラム論 中央法規			
参考書等： 平成29年告示 保育所保育指針 厚生労働省			
<p>評価の方法：</p> <p>出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題及び期末試験等により総合的に評価</p>			